



令和 2 年度 シュガーロード連絡協議会 事業報告書

作成者： シュガーロード連絡協議会 事務局

長崎市 商工部 商工振興課 商業流通係

目 次

1	事業報告	2
1.1	事業の経過及び成果.....	2
(1)	長崎街道シュガーロードポスターの製作.....	2
(2)	長崎街道シュガーロードホームページ 構成文化財コーナー追加制作	2
1.2	協力事業の経過及び成果	3
(1)	“えらべるシュガーロードギフト”.....	3
(2)	小倉城お土産販売施設しろテラス シュガーロード特設売り場の設置	4
(3)	“伝える県長崎”の掲載.....	5
(4)	諫早ケーブルメディア「3SUNひろば」の取材対応	5
(5)	日本遺産「国境の島」パネル展への協力	6
(6)	長崎開港450周年記念「長崎港をめぐる物語」展への協力	7
1.3	協力事業の経過及び成果／地域文化財総合活用推進事業（日本遺産）	8
(1)	人材育成 ガイドの育成事業	8
(2)	普及啓発 シュガーロードシンポジウムの開催事業.....	8
(3)	活用環境整備 多言語対応案内板等整備事業.....	9

1 事業報告

1.1 事業の経過及び成果

長崎街道シュガーロード沿線の3県8市の自治体が構成する事務局が主体となり、民間団体・企業が連携を図り、情報交換や共同でのPR事業などを行いました。

(1) 長崎街道シュガーロードポスターの製作

シュガーロード連絡協議会事務局

令和2年6月、文化庁の日本遺産の認定を受け、より効果的なPRを図るため、各市の菓子店への配布や物産展等イベントにおいて活用するためのポスターを新たに製作しました。



(2) 長崎街道シュガーロードホームページ 構成文化財コーナー追加制作

シュガーロード連絡協議会事務局

令和2年度の日本遺産事業において「多言語対応案内板設置事業」に取り組む中、シュガーロード連絡協議会ホームページの更なる有効活用のため、既存のシュガーロードホームページに構成文化財コーナーの追加制作を行い、QRコードを用いて多言語案内板から“シュガーロード連絡協議会ホームページ 構成文化財ページ”にアクセスできるようにしました。

[URL:http://sugar-road.net/cultural-property/index.php?la=ja&area=0](http://sugar-road.net/cultural-property/index.php?la=ja&area=0)



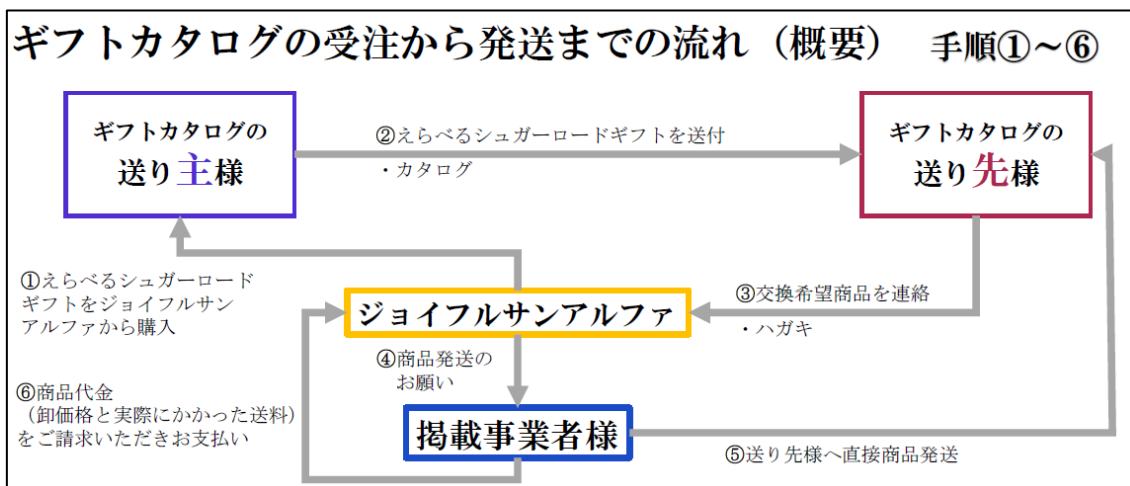
1.2 協力事業の経過及び成果

長崎街道シュガーロードを題材とする民間団体や企業からの協力要請に対し、情報提供などを行い、シュガーロードのPRを行いました。

(1) “えらべるシュガーロードギフト”

株式会社ジョイフルサンアルファ

シュガーロードから育まれた商品を、各価格帯別に、カタログに集約。贈り先のお客様が、好きな菓子をご自身の好みで選んで楽しんでいただける「えらべる」カタログギフトを製作。



(2) 小倉城お土産販売施設しろテラス シュガーロード特設売り場の設置

株式会社朝日広告社

日時：令和2年8月12日～12月31日

場所：小倉城お土産販売施設 しろテラス

「砂糖文化を広めた長崎街道～シュガーロード～」が令和2年6月、日本遺産に認定されたことを記念し、小倉城しろテラスでシュガーロードフェアを12月末まで開催。開催期間中、シュガーロードにゆかりのある長崎、佐賀、福岡のお菓子を販売。



(3) “伝える県長崎”の掲載

長崎県

掲載誌：「つたえる県ながさき」 令和3年4月号～6月号

長崎県発行の全世帯広報誌「つたえる県ながさき」において、砂糖の普及で生まれた個性豊かなお菓子と食文化を伝えるため、『砂糖文化を広めた長崎街道～シュガーロード～（日本遺産）』の掲載依頼があり、令和3年4月号～6月号へ寄稿しました。



(4) 諫早ケーブルメディア「3SUNひろば」の取材対応

諫早ケーブルメディア株式会社

番組名：諫早ケーブルメディア「3SUNひろば」

放送日時：令和3年1月25日、26日

シュガーロード全体のPR、シュガーロード連絡協議会のこれからの取り組みなどを広報するために、取材対応を致しました。



取材内容：①シュガーロードってなに？（概要の説明）

②日本遺産に認定（8市で構成）

③ここから砂糖文化が伝わった・・・シュガーロード全体とのPR、協議会としてのこれからの取り組みなど

④「いさはやおこし」について・・・いさはやおこしの由来やおこしのPRなど

⑤諫早市の取り組み（今後の計画など）

(5) 日本遺産「国境の島」パネル展への協力

長崎県

日時： 令和3年2月8日～2月17日

場所：長崎県庁玄関イベントホール

2月13日の「日本遺産の日」にちなみ、「国境の島」をはじめ長崎県の4つの日本遺産の魅力を紹介するパネル展への資料提供を行いました。

展示内容：長崎県の日本遺産4件

- ・「国境の島 壱岐・対馬・五島～古代からの架け橋～」
- ・「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～」
- ・「日本磁器のふるさと 肥前～百花繚乱のやきもの散歩～」
- ・「砂糖文化を広めた長崎街道～シュガーロード～」



(6) 長崎開港450周年記念「長崎港をめぐる物語」展への協力

長崎県美術館

日時：令和3年4月7日～6月13日

場所：長崎県美術館 常設展示室（第2室）

展示内容：菓子型、菓子模型

長崎開港450周年にちなんで開催する小企画展「長崎港をめぐる物語」の一部として開催。海を通して外国の文化が流入し、シュガーロードの起点でもあった長崎市の菓자에注目し、その「菓子型」を集めて展示。長崎ならではの和菓子や中華菓子の歴史を支えてきた菓子型を紹介するための、パネル製作のための資料を提供いたしました。



（参考図）現在、長崎市で作られているカステラの例
※展示している木枠を使ったお菓子ではありません。



（参考図）カステラの製造風景

厳密には「型」とは呼びませんが、型と同様に菓子の形を作る道具として、カステラの木枠をご紹介します。私たちが現在よく目にするカステラは、このような四角形の木枠に材料を流し込み、オーブンで焼いた上でお皿に切られたものです。枠が三つに分かれているのは、カステラを焼いて膨らむ過程で下から一つずつ重ねていくための、この過程で、均一に焼き上げるための水切りと呼ばれる作業も行われます。焼きあがると木枠を外し、一晩寝かせることでしっとりとした質感のカステラが生まれます。

カステラの木枠

現代
木
長崎県菓子工業組合蔵

Mold for castella

Contemporary period
Wood
Nagasaki Confectionery Industry Association

1.3 協力事業の経過及び成果／地域文化財総合活用推進事業（日本遺産）

（１） 人材育成 ガイドの育成事業

観光客の満足度を高めるため、長崎街道で結びついた地域の銘菓や食文化、街道と縁のある文化財等、資源の歴史的な背景を活用しながらシュガーロードの魅力を発信できるガイドを育成するために、1年目である令和2年度はテキストを製作しました。1年目にテキストを作成し、その後2カ年でガイド育成（1年目：座学研修、2年目：実地研修）のプログラムを実施する計画です。



（２） 普及啓発 シュガーロードシンポジウムの開催事業

住民のシュガーロードへの関心を深めるため、歴史的背景の講話やパネルディスカッション及び各地の銘菓を楽しむシンポジウムの開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度に延期しました。



(3) 活用環境整備 多言語対応案内板等整備事業

訪れた外国人がより深く長崎街道の歴史的資源や街道沿いの砂糖文化などを理解できるよう、多言語に対応した案内板等を7基設置しました。2カ国語（日・英）を案内看板の盤面に表記、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語については案内看板にQRコードを貼付しそれを読み取ることで、スマートフォン等に多言語表示する形式を採用いたしました。設置箇所は次のとおりです。

設置箇所	長崎市	興福寺入口門横 崇福寺入口門横 松森天満宮	(構成文化財No.4) (構成文化財No.5) (構成文化財No.9)
	諫早市	諫早駅構内	
	大村市	松原宿 大村宿 (大村市国際交流プラザ前)	(構成文化財No.21)
	飯塚市	飯塚宿 (本町商店街入口)	

